



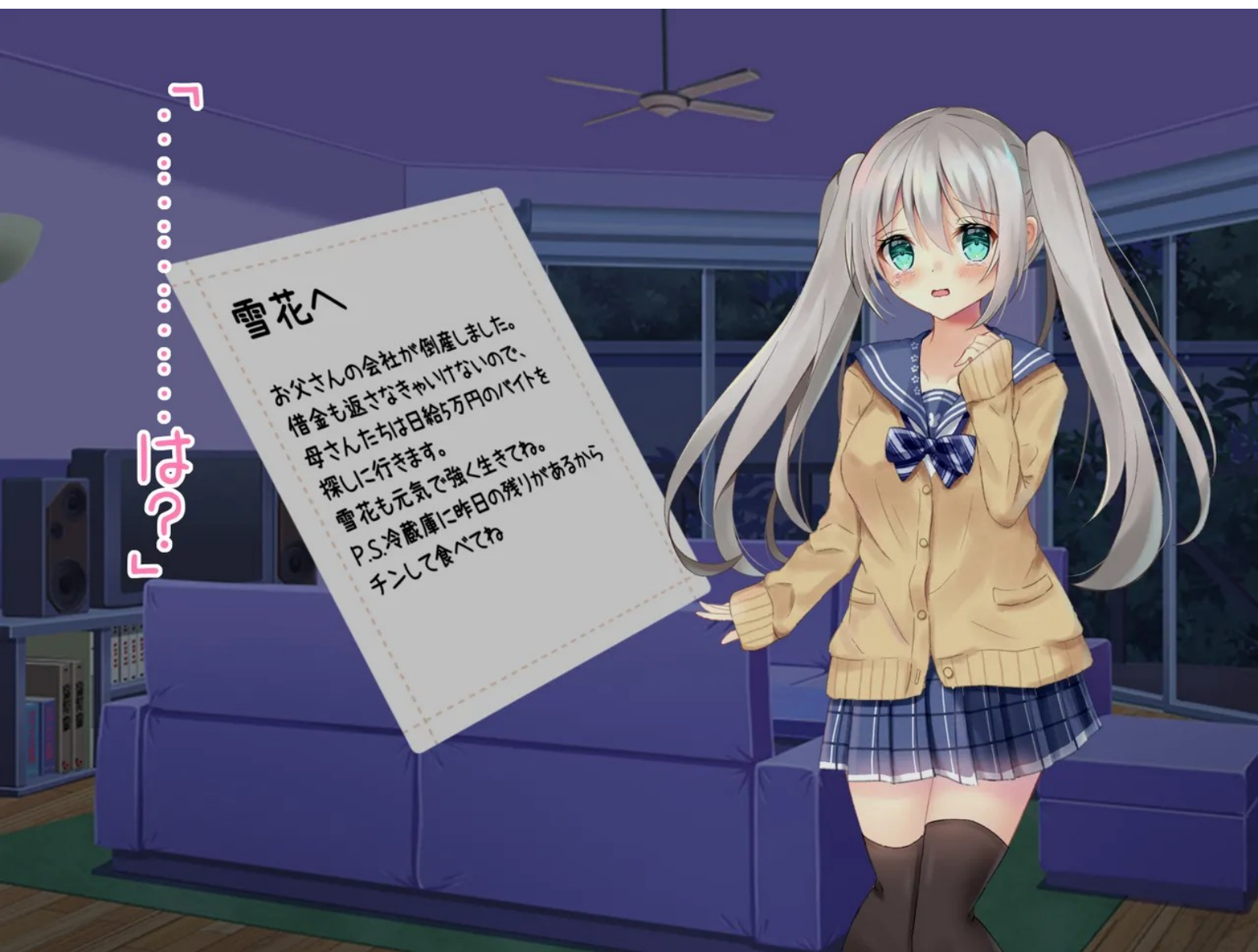
配信生活

はじめました

「なに……これ……」

ある日私が帰宅すると
暗いリビングに
1通の書き置きがあった。





雪花へ

お父さんの会社が倒産しました。
借金も返さなきゃいけないので、
母さんたちは日給5万円のバイトを
探しに行きます。
雪花も元気で強く生きてね。
P.S.冷蔵庫に昨日の残りがあるから
チンして食べてね

はつ?



【助けてください】両親が借金残して消えたのですが……

視聴者:23人



雪花CHANNEL/ゆきかちゃんねる
チャンネル登録人数:1400人

チャンネルに登録

突然親に捨てられた私は
以前から密かにやっている生配信で
助けを求めてみた。

ログイン

comment

こんゆきか～

チャットを入力してください……



関連動画



全裸で練乳アイス
食べてみた【絆創膏】



何でもするから
投げ銭をくれませんか……

まだ活動も浅く、視聴者さんは二十人前後。
いただく投げ銭も毎月お小遣い程度だった。

「そんなわけでお金を稼がなくなっちゃ
ならないんです……」

ログイン

comment

こんゆきか〜

チャットを入力してください……



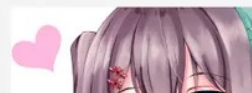
【助けください】両親が借金残して消えたので……
視聴者数: 23人



雪花CHANNEL/ゆきかちゃんねる
チャンネル登録人数: 1400人

チャンネルに登録

連動動画



全裸で練乳アイス
食べてみた【絆創膏】



【助けてください】同が借金残して消えたのです…
視聴者: 23人



雪花CHANNEL/ゆきかちゃんねる
チャンネル登録人数: 1400人

チャンネルに登録

ログイン

『何でも…?』

comment

- こんゆきか〜
- なにそれつらい…
- いま何でもって?
- じゃあさあ……

チャットを入力してください……



関連動画



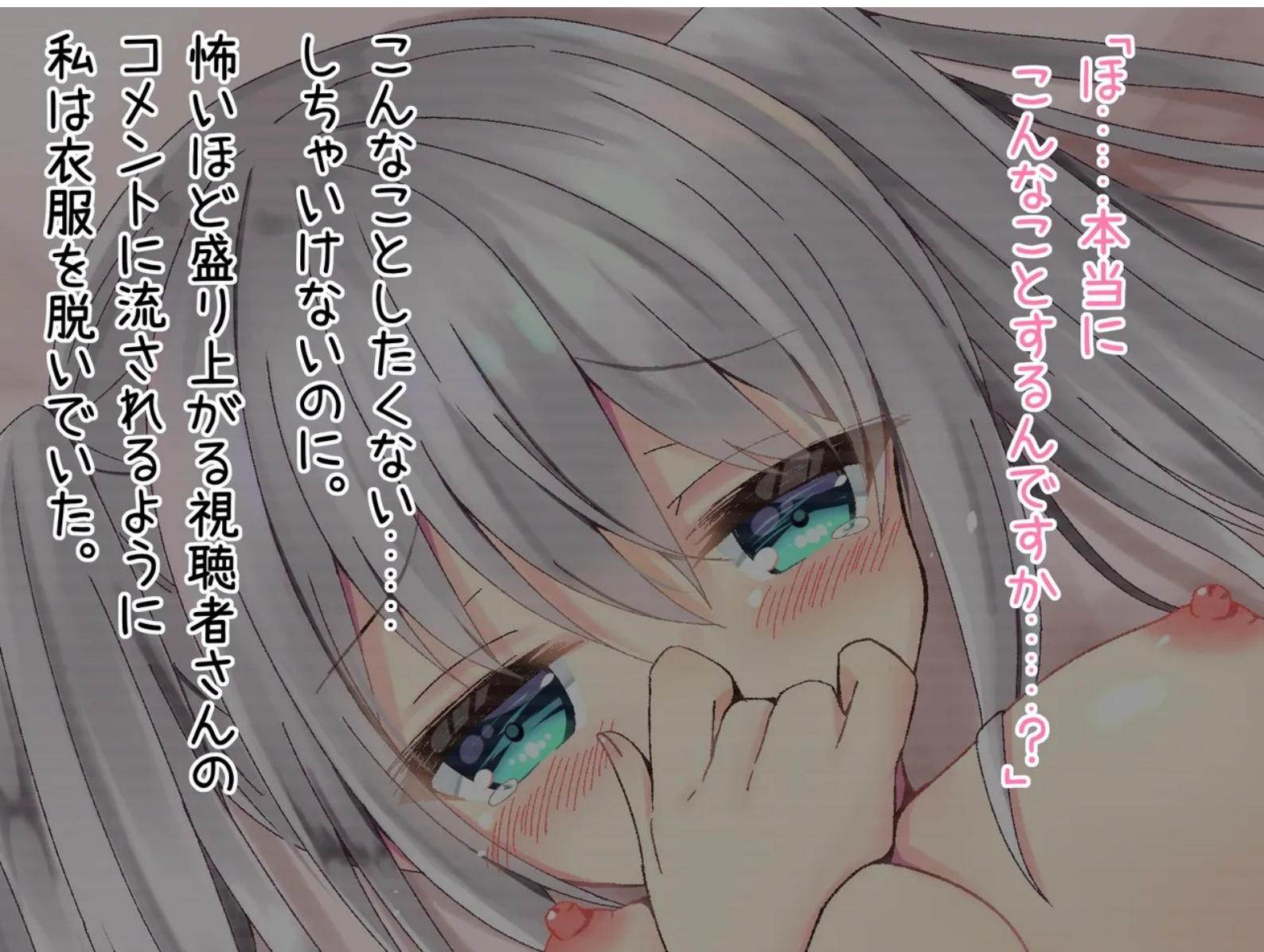
全裸で練乳アイス
食べてみた【絆創膏】

「ほ……本当に

こんなことするんですか……?」

こんなことしたくない……..
しちやいけないのに。

怖いほど盛り上がる視聴者さんの
コメントに流されるように
私は衣服を脱いでいた。



「うう……は、恥ずかしすぎます……」

こんな姿、まだ誰にも見られたこと
なかったのに……。

『雪花ちゃんおっぱいデケー……』
『これは神回確定』

ドキ

ドキ

ドキ

気付けば視聴者さんもどんどん増え
そろそろ3ケタに到達しそうだった。

●LIVE



「っ！？やだ、なんで私……？」

たくさんの人に見られていると思った途端
お腹のあたりにじんわりとした感覚が広がっていた。

キュン

じわあ

「はやくパンツ脱いでオナニーしてよ」
「パンツ着用の良さがわからないとか……」

「ぬげー！ぬげー！」

「わ……わかりました……」

はあ……

はあ……



まだ触ってもいないのに
たくさんの人に見られてるというだけで
下着はめちゃりと音がするほど濡れていた。

『パイパンおまんこ「kekky」
【●Rec】』

ヌチュッ

トイ

はなっ

（本当にこんなこと……したくないのに。
でも……お金のために頑張らなくちゃ……）

●LIVE



「ゆ……雪花の……つるつる処女マ○」……

見えてますか？

一緒にオナニーして気持ちよくなったら……
投げ銭いっぱい突っ込んでください……ね？」

フチュ

プチュ♡

むわわ

ぽんぽん

べし

ああ……私は何を言っているんだろう……。

むわつと充滿する自分の匂いに

頭はぼうつとなり、まともな思考はもうできない。



「いつもは……こうやって……あつ
上から下に……んっ……なぞるのっ」

ヌチュッ

ギューッ
ギューッ
プチュッ

あっ

はっ

〜 ビクッ

触っただけで水音が立つほどぬれているアソコ。

「見られただけでこんなに濡らしちゃうなんて」

「雪花ちゃん実は変態?w」

●LIVE



「変態じゃ……んっ！ ない……もんっ」
胸もアソコも、敏感なところに触れるたび
声が抑えられなくなる。

（でも……ぞっか。もう声を抑えなくても
誰にも聞かれないんだ……）

うろ

んっ……

不意に思い出したことをかき消すように
私は机の引き出しからローターを取り出した。

うろ

んっ……
べんっ……

『おもちゃきたー……!』

「は……はじめて使う……っ」

以前お友達が冗談交じりに
『雪花ももう大人なんだから』と
プレゼントしてくれたものだった。

くちゅい

ぴん

〜びく

ざんざん

ドギ

……はっ

ドギ

「えっと……これがスイッチかな?」

●LIVE



こ……これえ……っ

これまで味わったことのない快樂。

こんなのをクリト○スに当ててしまったら……。

ブル

二、一、甲
三、乙、丙



はあ

んあああああああああああああ！！！！！！

い……ん……

も……イっちゃうっちゃうっちゃうっちゃうっちゃう!!

!LIVE





だるまぎ

ぷるん

ちゃん♡

ちゃん♡

ブーッ
ブーッ
ブーッ
ブーッ

「ふあー!!」

んあああああああああああああー!!

●LIVE

モニターやカメラにまで届いて濡れてしまったが
そんなことを気にする余裕がなかった。

「はあ……はあ……♡」

快楽の余韻に浸りながら
私はぐったりとベッドに横たわった。

（私……何してたんだっけ？）

ふわふわとした感覚の中
滝のように流れるコメントや投げ銭を眺めながら
私は意識を失った。

 LIVE



数日後の帰り道……

「この前は大変だったけど……いっぱい
投げ銭もらえたし……よかったのかな？」

あれから親と連絡はつかないけど
配信活動で金銭面は賄えそうだった。

「といっても……」

あんな恥ずかしいこと何度もやりたくないけど

でもすごく気持ちよかったし……
たまになら……



「ねえキミ、もしかして雪花ちゃん？」

突然男の人から声を掛けられ
もしかしたら借金取りの人かな……と
ビクッとしてしまった。

「そ……そうですけど」

この時間帯は人通りも少ないから、少し怖い。

「えっと……もしかして借金のこと……ぎゃっー」



「痛い！は、離して……っ！」

声をかけてきた男の人は私の腕を掴むと横道の茂みをずんずん進んでいった。

振り払えないほど強く引っ張られた私は転ばないようにするのが精一杯だ。

「く……この状況が」



「や……やめてくださいっ」

本当にあっという間だった。
太い木に押さえつけられたかと思うと
制服の上着を無理やり脱がされる。

あらわになった胸に、ひんやりとした風が触れて
ドキリとした。

「やっぱり生おっぱいはいいなあ」

「お……お願いですからやめてくださいっ
借金ならちゃんと返しますから……」

ぷるん♡

んっ

んっ



「あ？ああ、俺は借金取りの怖いお兄さん
じゃなくて、この前の配信を見てたリスナーだよ」

「え……ええ？ な、なんで……」

ドギョッ
スルッスルッ

「雪花ちゃん、ネットの怖さを甘く見てたねえ
キミみたいな可愛い子は
すぐに特定されちゃうんだから」

「うそ……なんで？ 前まではこんなことなかったのに
あの配信、今まで以上に
たくさんの人が見てた……から？」

「ほん」



「ああっ—!!
もう我慢できない—!!」

「ひっ……いやあ—!!」

「ばあはあ……雪花ちゃん本当につるつるなんだね
もしかして処女って言うのも本当なのかな?」

「んんんん」

「ん……そんなに顔っ……近づけないで……」

「あ……っ♡」

「はあ♡」

「ぴん」

「ズルッ」



「んぶっ……」

「んっ……い……やあ

そんなと……ろっ……なめない……でえ」

ぴち

ぎゅ

くちゅ

ズン

ガクガク

んあっ

はぁ……

自分の指やローターとも違う、ねっとりとし
這い回るような下の感覚に、思わず腰が震える。

「じゅる……はぁ……雪花ちゃんのお汁美味しいよ」

くほぬほーっ♡

「んふう……♡やぁ……本当にだめ……っ

し、舌が膣内に入ってきてえ……っ！」

かき回さないで……え♡」

恐怖と快楽から逃れようにも

ガクガクと震えるひざでは立ってるのもやっただ。

（知らない人にこんなことされて怖いのに……

なんで私……気持ちよくなっちゃってるのー？）

ガクガク

んぎゅっ
ほっ

こり

自分が感じていると同化した瞬間
頭が白くなるほどの電流が体を走った。



「はあ……はあ……んっ♡」

（ようやく……終わった……の？）

ぴちだ
くぶ♡

「ずるいよ雪花ちゃん……先にひとりで
いつちゃうなんて」

「え……？」

やっと解放される安堵から、私はその言葉と
カチャカチャとベルトを外す音の意味を
すぐに理解できなかった。

はっ♡

ふう♡



「何かあたって……
え、もしかして……!?!」

くづる

じゅっ……

ハッ和我に返ると、唾液と愛液で濡れた割れ目に
熱く隆起したモノが今まさに押し込まれようと
していた。

「いや……やだっ!そ、それだけは……やめっ」

すでに先走り汁を垂らしたソレは
喜びを抑えられないかのようにピクッピクッと
震えながら、私の穴の入り口を探り当てた。

「それじゃあ雪花ちゃんの処女
いただきます!」

はっ……

だ……ドキッ





ぐっ

ぬふっ

ちゅっ

「ああ……」

「雪花ちゃんの膣内すっごく気持ちいいよ」

「い……たっ！うづか……ないでえ……ひぐっ！」

心も身体も犯されて、悔しくて、瞳からは
涙が零れ落ちた。

（どうして私ばかり……こんな目に……っ）

「雪花ちゃん泣かないで。すぐに気持ちよく
させてあげるからね」

フ

ぷるん

ハ

フ

「うう……。こんなこと……されてっ！」

「気持ちよくなるわけ……あ♡」

「にっ？にっが気持ちいいの？」

「んふっ♡ あ……んっ！」

突然体中を巡るような衝撃に襲われて
思わず漏れる声を必死にこらえる。

「奥が感じちゃうんだね！」

気持ちよさそうな声と一緒に膣内がどどん
漏れてきてるよ」

「感じて……なんかっ……あ♡

いやっ……そこ……こっ……こっ……

突かない……でっ♡

んっ♡

ふっふっ♡

ハ——♡

ずいっ♡

こっ♡
こっ♡

ずいっ♡



（うそ……うそだよ。私、初めてを奪われたのに……知らない人なのに気持ちよくなってる……!）

お互いから溢れた液体の混ざる
ぐちゅぐちゅとした水音と
肌のぶつかり合うパンッパンッと乾いた音が響く。

2人きりの世界を遮るものはなく
いやも応もなく、肉壁を擦る
熱く硬いペニスに意識が向いてしまう。

ズ
ビ
ュ
ヌ
ッ
♡
ふ
ぢ
ゃ

ガ
ク

ザ
ク

ぱ
ん

ぶ
く

ア
ッ

ガ
ク

パン
又
舌
ズリ
パン

「ああ！雪花ちゃんの声聞いてたらが、もう我慢できなくなっちゃった！そろそろ射精すよー！」

「え……だ……すっ……てえ♡
あんっー！急に激し……いっー！」

ガクガク

突然獣のように膣内を貪るソレは、子宮に大量の精子を届けるために、さらに奥へねじりこむ。



「あっ……はっ！だ、だめ！膣内に射精されたらっ
……んっ♡赤ちゃん……でき……ちゃうー！」



「はあ……はあ……」

最高に気持ちよかったよ……」

「い……やあ……っ！ あつい……んっ♡
ぴゅっ……ぴゅっ……てえ……」

膨れ上がったペニスは精液を出し尽くすとズルリと
引き抜かれ、支えを失った私の膝は崩れ……
私は地面に転がった。

身体を動かす余力も無く、目線だけを下に動かすと
赤い血の混じった白濁の精液が腿を伝い落ちた。



「それじゃあ、またね雪花ちゃん。
次の配信も楽しみにしてるよ！」

遠ざかる男の足音を聞きながら私は
このまま世界が終わればいいのにと
瞼を閉じた……。



数日後――

「なるほど。今はASMRってものが流行ってるんだ」
あの後、私は当たり前のように警察に通報をした。
近隣住民の証言などもあり、すぐに犯人は逮捕。

「でも……バイノーラルマイクって高いなあ……」

特にトラウマになることもなく、どうにか
配信活動でもっとお金を稼げないか検討中だ。

「この前の配信で視聴者さんも増えたし
みんなに相談してみようかな♡」

まだ誰か襲ってくれないかなって
心の片隅で期待しながら――





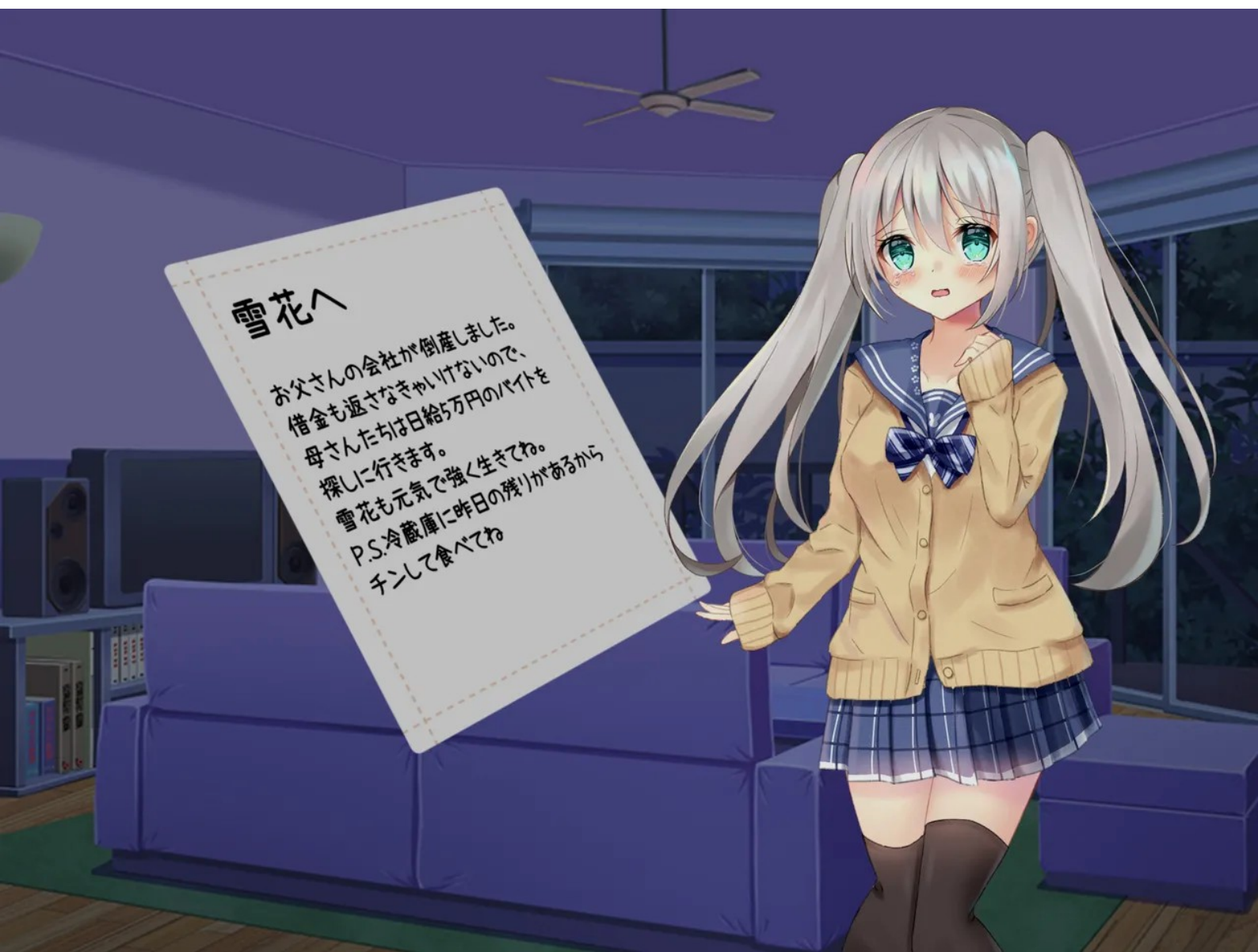
雪花 - Yukika -



使わなかった立ち絵の裸差分……







雪花へ

お父さんの会社が倒産しました。
借金も返さなきゃいけないので、
母さんたちは日給5万円のバイトを
探しに行きます。
雪花も元気で強く生きてね。
P.S.冷蔵庫に昨日の残りがあるから
チンして食べてね



comment

こんゆきか〜

チャットを入力してください……



【助けてください】両親が借金残して消えたのですが……

視聴者:23人



雪花CHANNEL/ゆきかちゃんねる
チャンネル登録人数:1400人

チャンネルに登録

関連動画



全裸で練乳アイス
食べてみた【絆創膏】



【助けてください】両親が借金残して消えたのですが……

視聴者:23人



雪花CHANNEL/ゆきかちゃんねる
チャンネル登録人数:1400人

チャンネルに登録

comment



こんゆきか〜

チャットを入力してください……



関連動画



全裸で練乳アイス
食べてみた【総創喜】



【助けてください】両親が借金残して消えたのですが……

視聴者:23人



雪花CHANNEL/ゆきかちゃんねる
チャンネル登録人数:1400人

チャンネルに登録

comment

-  こんゆきか〜
-  なにそれつらい…
-  いま何でもって？
-  じゃあさあ……

チャットを入力してください……



関連動画



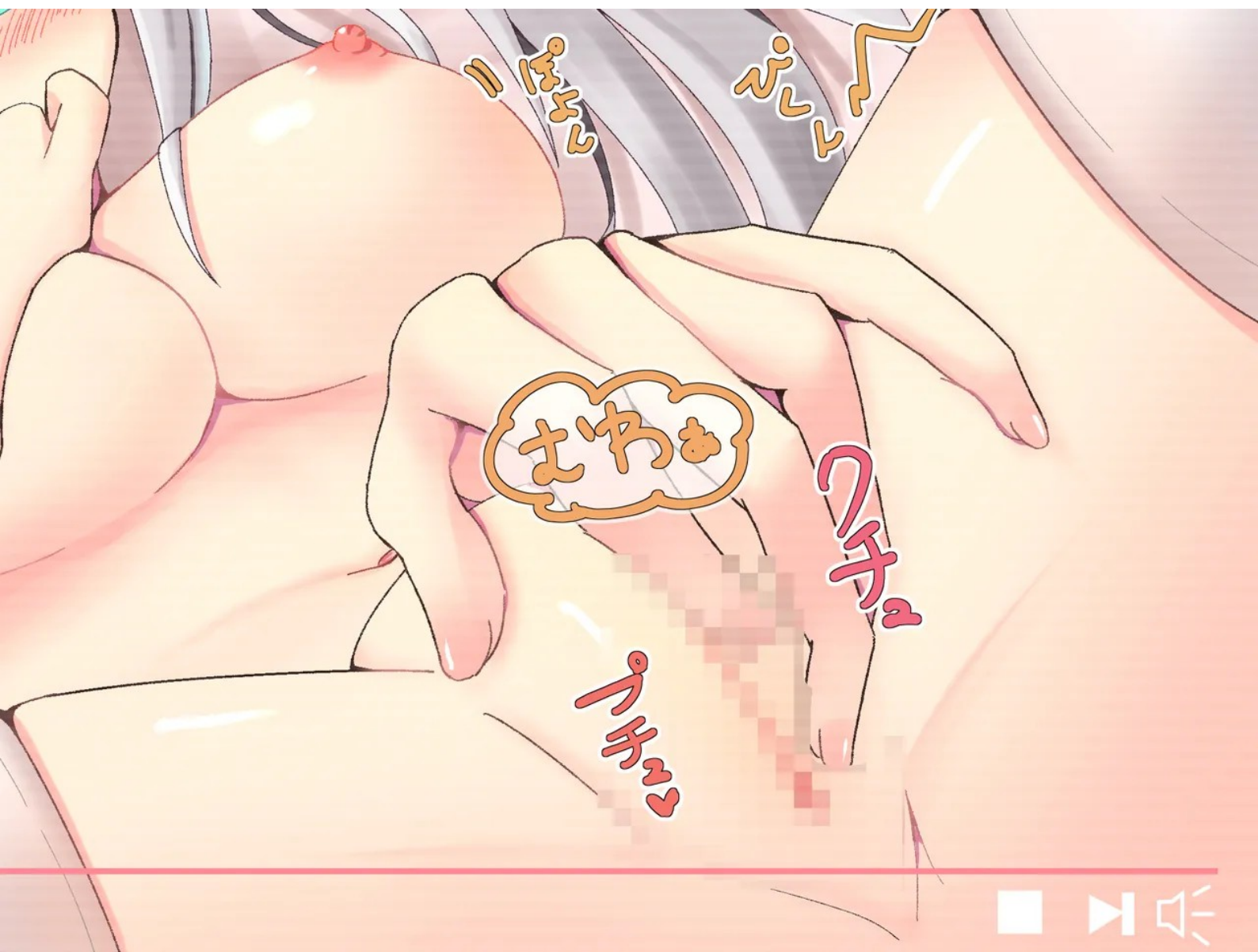
全裸で練乳アイス
食べてみた【絆創膏】













へびくっ

あっ

はっ

ギュー
ギュー

プチャ

ヌチャ

●LIVE





































はっ...

だ...

ドキッ

んー

んー...

























